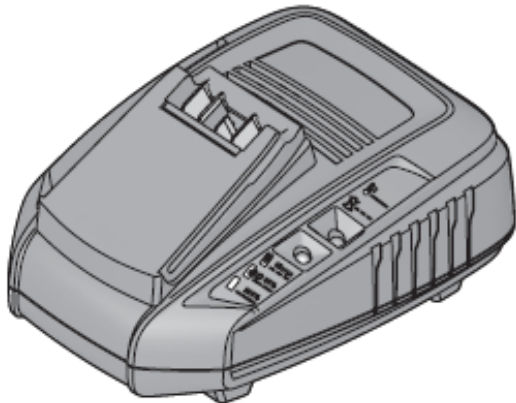


# Husqvarna®



P4A 18-C70

## 充電器 取扱説明書

- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この取扱説明書を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



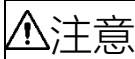
# 目次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 安全規則 .....                   | 4  |
| 警告表示の区分 .....                | 4  |
| 一般安全規則.....                  | 5  |
| 記号について.....                  | 12 |
| 安全上のご注意.....                 | 13 |
| コードレス電動工具全般についての注意事項 .....   | 13 |
| 充電器についての注意事項.....            | 20 |
| 本製品について .....                | 22 |
| 各部の名称.....                   | 22 |
| 仕様 .....                     | 23 |
| 使い方.....                     | 25 |
| バッテリーを長持ちさせるために.....         | 28 |
| リサイクルのために.....               | 29 |
| 使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください..... | 29 |
| お手入れと保管 .....                | 30 |
| クリーニング.....                  | 30 |
| 保管 .....                     | 30 |

|                 |    |
|-----------------|----|
| 充電器の廃棄について..... | 31 |
| 困ったときは.....     | 32 |
| 故障かな?と思ったら..... | 32 |
| 修理を依頼するときは..... | 33 |

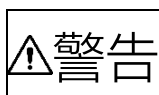
# 安全規則

## 警告表示の区分

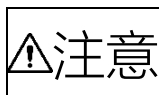
ご使用上の注意事項は  危険、 警告、 注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。




◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 一般安全規則

### ⚠ 警告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。

下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式（コード付き）電動工具または、電池式（コードレス）電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

#### a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。  
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させる恐れがある火花を発生する場合があります。
- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

#### b) 電気的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。

改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。

- 2) パイプ、暖房機器、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。

身体が接触すると、感電する危険が増大します。

屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。

- 3) 電動工具、バッテリーは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電する危険が増大します。

◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。

- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。

◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理を依頼してください。お買い求めの販売店にご相談ください。

- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。

◆ 屋外で使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

### c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているのか

に注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。

- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。

◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります。

- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。

◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。

- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておくと、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしつかりさせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手

袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。

◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関係する危険を低減することができます。

◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

#### d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
  - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
  - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
  - ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
  - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具本体からバッテリーを取り外してください。このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保



管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱ってない人に渡すと、危険です。

◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

◆ 鍵のかかる所に保管してください。

- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各 부품の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。

多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。

- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。

- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。

電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。

◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。

- 8) 電動工具は、25°Cでの使用を前提としていますが、時折、35°Cになることも想定しています。

#### e) コードレス電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。
- 2) 弊社が指定した充電器だけで再充電してください。バッテリ

- 一に適さない充電器を用いると、火災の危険があります。
- 3) 電動工具は、指定された専用のバッテリーのみを使用してください。指定外のバッテリーを使用すると、人的被害および火災をもたらす恐れがあります。
    - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
  - 4) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなど、バッテリー端子を短絡させる恐れのある金属物から離してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災をもたらす恐れがあります。
  - 5) 過酷な条件のもとでは、バッテリーから液漏れが発生する場合があります。直接触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れた液体は、炎症ややけどをもたらす恐れがあります。

#### f) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。



- ◆ サービスマン以外の方は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているため改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、

予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。

g) その他

- 1) この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で使用しないでください。  
◆この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
- 2) 製品本体および本取扱説明書に使用されている記号の意味については、「記号について」を参照してください。

## 記号について

|   |   |
|---|---|
|    | <p>本製品は、屋内専用製品です。<br/>屋外では使用しないでください。</p>       |
|    | <p>けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください</p>              |
|    | <p>ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください</p>                   |
|   | <p>ビニール袋は窒息の危険があります。この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください。</p> |
|  | <p>リサイクル識別表示マーク<br/>(リチウムイオンバッテリー)</p>          |
|  | <p>リサイクル識別表示マーク<br/>(紙製容器包装)</p>                |
|  | <p>リサイクル識別表示マーク<br/>(プラスチック製容器包装)</p>           |

## 安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

### コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

#### ⚠ 危険

- POWER FOR ALL 対応の充電式バッテリー以外を使用しないでください。
  - ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
  - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。  
電動工具本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでくだ

さい。

- バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。
  - ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。
  - ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- コードレス電動工具本体やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。
  - ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。
- 専用の充電器以外では、充電しないでください。
  - ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。  
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。
- バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
  - ◆ 短絡の恐れがあります。
- バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。  
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。
  - ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

|             |
|-------------|
| <b>⚠ 警告</b> |
|-------------|

- 正しく充電してください。
  - ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
  - ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。

- ◆仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
- ◆バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。
- 感電に注意してください。
  - ◆ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
- 加工するものをしっかりと固定してください。
  - ◆加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でコードレス電動工具を使用できます。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。

捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 充電式でないバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。
- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
  - ◆埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。

水配管の貫通は、器物破損の原因になります。

- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。

- ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。

絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。

- 作業中にコードレス電動工具本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

- ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

- 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、コードレス電動工具本体や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

- ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鋳物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。

- ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。

- できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。

- 作業場所の換気に注意してください。

- DS2 クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。



作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。

- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、コードレス電動工具本体が冷めるための時間を設けてください。
  - ◆ 複数個による連続作業は、コードレス電動工具本体に支障をきたすばかりでなく、コードレス電動工具本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。

蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者診断を受けてください。

  - ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
  - ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的にコードレス電動工具の通気口を清掃してください。
  - ◆ 通気口にはこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
  - ◆ 握り部が滑りやすいと、コードレス電動工具本体を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。
- 安全上のご注意は、必ず守ってください。
  - ◆ コードレス電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。コードレス電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
- 搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。第三者が運搬する場合（例えば空輸あるいは代理店経由）、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。

## ⚠ 注意

- 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
    - ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
  - 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
    - ◆ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
  - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
  - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- この取扱説明書は、大切に保管してください。

## 充電器についての注意事項

コード式電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。

ここでは、充電器をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

### ⚠ 警告

- 感電に注意してください。
  - ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
- すべての充電手順を守ってください。指示に従って指定された温度範囲で充電してください。
  - ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損し、火災の危険性が高まります。
- 電源に100Vが確実に供給されていることを確認してください。

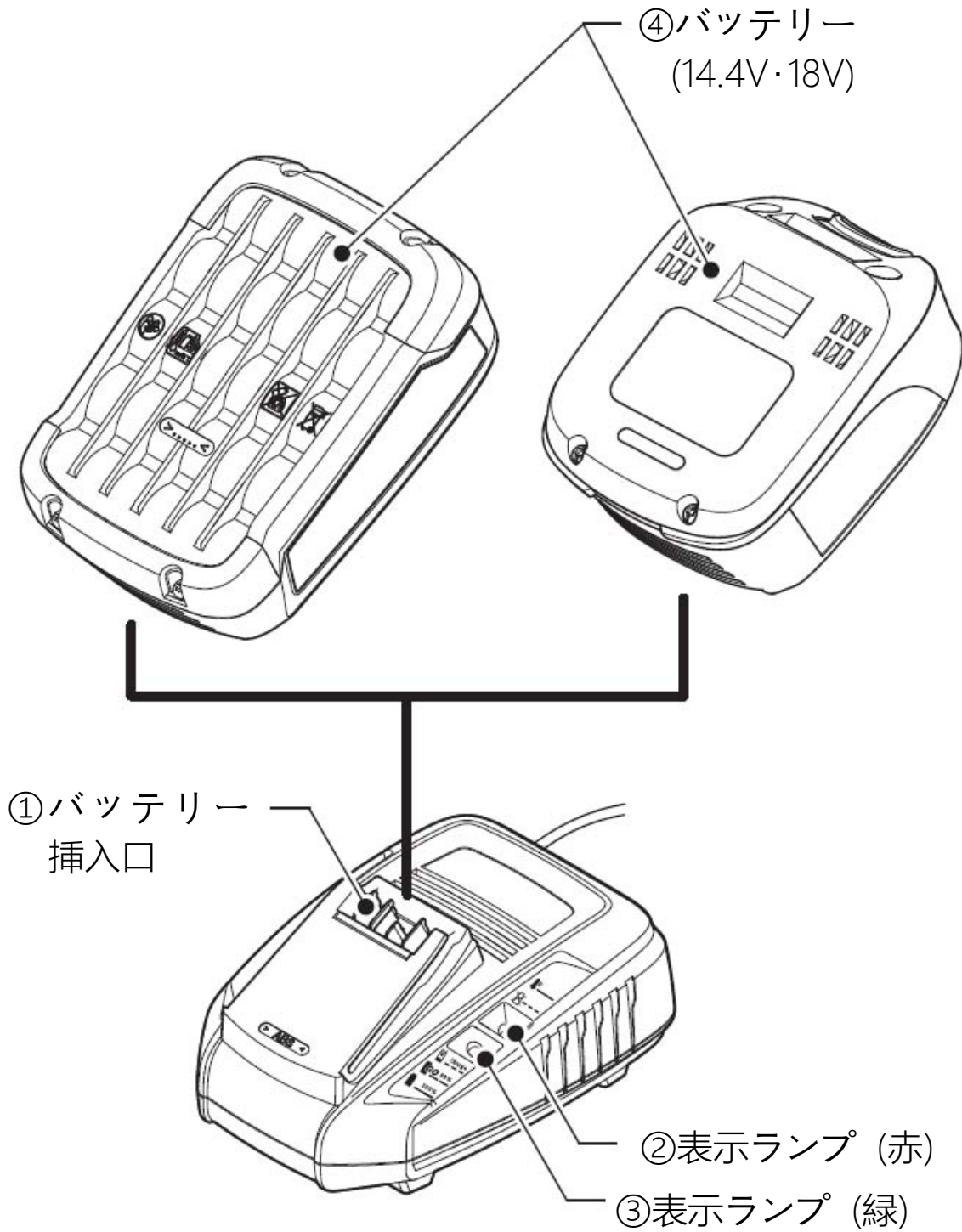
特に、延長ケーブルを使用するときは、必ず事前に確認してください。

  - ◆ 使用電源の電圧が指定より低いまたは高い状態で使用すると、充電器およびバッテリーに支障をきたすばかりでなく、発火の原因になります。
- やむを得ず、湿気の多い場所で使用する場合は、漏電遮断機 (RCD) を設置して給電してください。
  - ◆ 漏電遮断器の設置で、感電する危険が低減されます。
- ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

- ◆ 発火・爆発の恐れがあります。
- 紙類や布類、畳、カーペット、ビニールなど可燃物の上や周辺、綿ぼこりなどほこりの多い場所では充電しないでください。
  - ◆ 充電中の熱で発火する恐れがあります。
- 充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - ◆ 充電器に水が浸入すると、感電の危険が増します。
- 充電器にバッテリーを挿入する際、バッテリーの向きに注意してください。
  - ◆ まちがった向きで無理に押し込むと、破損の原因になるばかりでなく、発火の原因になります。
- 充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
  - ◆ 布などで覆われていると過熱して、発火・破裂の恐れがあります。
- 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを電源コンセントから抜き、充電を中止してください。
  - ◆ そのまま充電を続けると、発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 充電器は、いつもきれいに保ってください。
  - ◆ 汚れていると、感電の恐れがあります。
- 定期的に充電器の通気口を清掃してください。
  - ◆ 通気口にはほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

# 本製品について

## 各部の名称



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

## 仕様

|                  |                   |
|------------------|-------------------|
| モデル名             | P4A 18-C70        |
| 型番               | P4A 18-C70        |
| 電源               | A.C.100V、 50-60Hz |
| 充電電圧             | 14.4~18V          |
| 充電電流             | 3A                |
| 質量 <sup>*1</sup> | 約 0.4kg           |
| 充電周囲温度範囲         | 約 0~45℃           |
| 充電可能バッテリー温度範囲    | 約 0~45℃           |
| 原産国              | 中国                |

\*1 EPTA プロシージャー 01/2014 に準拠

※ 必ず、POWER FOR ALL 対応バッテリーを使用してください。

## 充電時間一覧

充電可能バッテリー:

POWER FOR ALL 対応リチウムイオンバッテリー

| 容量    | P4A 18-C70      |         |
|-------|-----------------|---------|
|       | 容量 (14.4~18V 用) |         |
|       | 80%充電           | 100%充電  |
| 1.5Ah | 約 24 分          | 約 33 分  |
| 2.5Ah | 約 40 分          | 約 60 分  |
| 4.0Ah | 約 60 分          | 約 90 分  |
| 6.0Ah | 約 96 分          | 約 130 分 |

上記の充電時間は、最適条件での充電時間です。

周囲温度、バッテリーの温度や状態、電源電圧等の要因により多少長くかかることがあります。



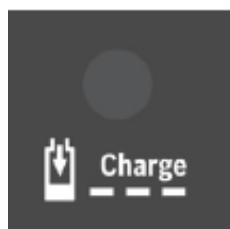
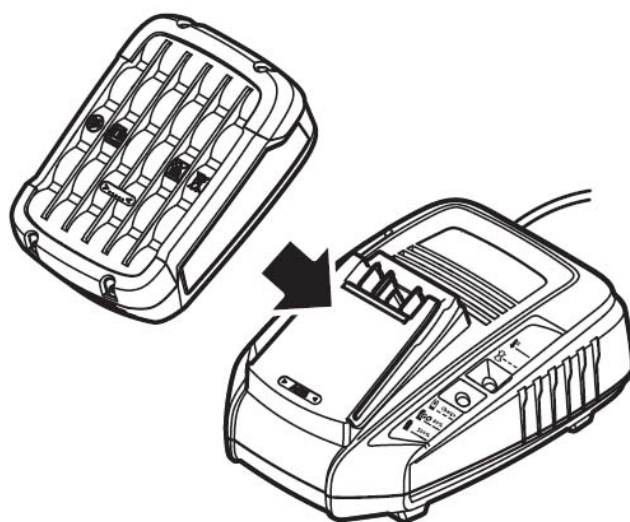
# 使い方

## 充電する

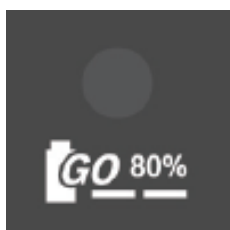


- ◆ バッテリー④が熱くなっているときは、冷めてから充電してください。
- ◆ エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。
- ◆ 電源に100Vが確実に供給されていることを確認してください。特に、延長ケーブルを使用するときは必ず事前に確認してください。
- ◆ バッテリー挿入口①に異物が入らないよう注意してください。ショートの原因になります。

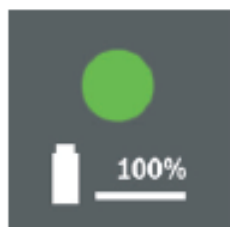
1. 充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込み、表示ランプ（緑）③の点灯を確認します。
2. 充電するバッテリー④を充電器のバッテリー挿入口に差し込みます。



急速充電が開始され、表示ランプ（緑）③が早く点滅します。バッテリー④は、確実に充電器に差し込まれていないと充電されません。表示ランプ（緑）③が点滅していることを、必ず確認してください。



バッテリー容量の 80%まで充電されると、表示ランプ（緑）③が遅い点滅に変わります。80%充電が完了した時点で使用することができます。




充電が完了すると、表示ランプ（緑）③は点灯状態に戻ります。バッテリー④が熱くなりすぎたり、逆に冷えすぎている場合、表示ランプ（赤）②が点灯したままになり、充電を開始しません。バッテリー④が適正温度（0~45℃）になった時点で、充電器は自動的に充電を開始します。ただし、熱くなりすぎたバッテリーは、できるだけ冷めてから充電を行うようにしてください。


3. 充電が完了したら、バッテリー④をバッテリー挿入口①から抜き取ります。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜き取ります。

### ランプ表示と意味


充電の過程と充電状態を表示ランプ（赤）②と表示ランプ（緑）③で表示します。

表示ランプ（緑）③の連続点灯 


充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込んだ状態です。（バッテリーは挿入していない）

表示ランプ (緑) ③の早い点滅 


挿入されたバッテリー④に急速充電を行っています。  
急速充電は、バッテリー温度が 0~45°C のとき可能です。

表示ランプ (緑) ③の遅い点滅 

挿入されたバッテリー④が 80%まで充電されました。  
バッテリー④の使用が可能です。

表示ランプ (緑) ③の連続点灯 

挿入されたバッテリー④の急速充電が完了した、または挿入された  
バッテリー④が、フル充電状態です。

表示ランプ (赤) ②の連続点灯 

警告! 挿入されたバッテリー④が熱くなりすぎ、または冷えすぎている  
ます。  
バッテリー④が適正温度に達した時点で自動的に急速充電を開始し  
ます。

表示ランプ (赤) ②の点滅 

警告! 挿入されたバッテリー④の不良、または接点不良。充電不可能。

## バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間 (6 か月以上) 使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

## リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ハスクバーナ・ゼノア株式会社は一般社団法人 JBRC に加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、JBRC リサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



**Li-ion**

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、コードレス電動工具本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出してください。

# お手入れと保管



- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントから抜いて、お手入れしてください。

## クリーニング

- 通風口やバッテリー挿入部分などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- 乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る  
変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

## 保管

- 使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する
  - 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
  - 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
  - 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。  
特に、バッテリーは 50°C 以上になるところに置かない。
  - バッテリーは、-20°C~+50°C の範囲で保管する。
  - ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
  - ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。

## 充電器の廃棄について

充電器の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

## 困ったときは

### 故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

| 症状                              | 原因                    | 対処  |
|---------------------------------|-----------------------|---|
| バッテリー④を挿入しても充電器の表示ランプ（緑）③が点灯しない | 電源プラグが電源コンセントから抜けている  | 電源プラグを電源コンセントに確実に差し込む                                 |
| 表示ランプ（赤）②が点灯する（充電が始まらない）        | バッテリー④が熱く、または冷たくなっている | バッテリー④を挿入したままの状態にしておくと、バッテリー④が適正温度に達した時点で自動的に充電を開始します |
| 表示ランプ（赤）②が点滅する                  | バッテリー④が正しく挿入されていない    | バッテリー④を正しく挿入する  |
|                                 | バッテリー挿入口①が汚れている       | バッテリー挿入口①の汚れを取り除く                                     |
|                                 | バッテリー④自体の寿命がきている      | バッテリー④を交換する   |
| 充電してもフル充電しない                    | バッテリー④自体の寿命がきている      | バッテリー④を交換する   |
| フル充電しても使用時間が短い                  | バッテリー④自体の寿命がきている      | バッテリー④を交換する   |



## 修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店までお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。